

## 審査基準（保健看護学研究科博士前期課程）

### ○研究計画書の審査基準

1. 研究の目的、方法、予測される結果が首尾一貫していること
2. 計画書にある対象と方法で実施可能であること
3. 倫理的に問題がないこと
4. 次年度には修士論文として提出できる計画であること
5. 保健看護学領域における修士論文に相当した研究であること

### ○論文審査委員による論文の審査基準

#### ・修士論文

1. 保健看護学領域において発展性を有する研究である。
2. 研究課題が適切である。
3. 十分な文献検討が行われている。
4. 研究目的を達成するために、適切な研究方法を用いている。
5. 必要なデータが十分に収集されている。
6. データを適切に分析できている。
7. 研究目的にかなった結果が得られている。
8. 必要十分な文献を用いて、考察を深めている。
9. 一貫性・論理性のある議論が展開されている。
10. 倫理的に問題がない。

#### ・課題研究論文

1. 専門領域の看護実践の質向上につながる研究である。
2. 研究課題が適切である。
3. 十分な文献検討が行われている。
4. 研究目的を達成するために、適切な研究方法を用いている。
5. 必要なデータが十分に収集されている。
6. データを適切に分析できている。
7. 研究目的にかなった結果が得られている。
8. 必要十分な文献を用いて、考察を深めている。
9. 一貫性・論理性のある議論が展開されている。
10. 倫理的に問題がない。

### ○公開発表会・論文審査（口頭試問）・最終試験の審査基準

1. 公開発表における、目的・方法・結果が明快で、分かりやすい。
2. 研究の目的・意義、解析方法・結果などを正しく理解している。
3. 口頭による応答が的確にできる。
4. 修正論文において、主査および副査の指摘箇所について適切な修正ができている。

## 審査基準（保健看護学研究科博士後期課程）

### ○論文審査委員による論文の審査基準

#### ・博士論文

1. 保健看護学領域において独創性および新規性を有する研究である。
2. 研究課題が適切である。
3. 十分な文献検討が行われている。
4. 研究目的を達成するために、適切な研究方法を用いている。
5. 必要なデータが十分に収集されている。
6. データを適切に分析できている。
7. 研究目的にかなった結果が得られている。
8. 必要十分な文献を用いて、考察を深めている。
9. 一貫性・論理性のある議論が展開されている。
10. 倫理的に問題がない。

### ○最終試験の審査基準

1. 目的・方法・結果の説明が明快で、分かりやすい。
2. 研究の目的・意義、解析方法・結果などを正しく理解している。
3. 口頭又は筆頭による解答が的確にできる。